作词：夕野ヨシミ(IOSYS)

作曲：ARM(IOSYS)

花簪の美しゅうて　思い出す

花簪之美 不禁让人会想起

ふたり眺めた　京のこころ

两人一同眺望 京都的中心

春の空に　咲きほころんだ桜　胸はずませて

暖春青空间 争相盛放的樱花 使心花也怒放

夏の雨に　濡れて香る紫陽花は　なみだ

盛夏甘露降 滋润芬芳紫阳花的是 滴滴泪珠

いま　こんちきちん　こんちきちん　祭囃子がおこしやす

此时 鸾歌凤吹 余音缭绕 祭典庆乐在此夹道欢迎

お月様　はんなりと　夢照らして

皎洁明月 雍容华贵 点亮梦想

こんちきちん　こんちきちん　淡い光に手を伸ばす

鸾歌凤吹 余音缭绕 伸手轻抚那淡淡月光

次に会えるのは　あゝ　いつの日か

下次再会之日 啊 又该是何时

花簪の懐かしゅうて　数えたら

若是细数 花簪的怀旧之感

鮮やかに舞う　京の記憶

鲜活地浮现起 京都的回忆

秋の風に　踊りまわる紅葉　唇寄せて

金秋凉风拂 翩跹起舞的红叶 轻吻着双唇

冬の雪に　忍び咲いた寒菊の　強さ

隆冬霜雪飘 寂然绽放冬菊的 坚韧不屈

いま　こんちきちん　こんちきちん　祭囃子が遠ざかる

此时 鸾歌凤吹 余音缭绕 祭典庆乐正渐行渐远

灯火　ぼんやりと　揺れている

烛中火光 愈发朦胧 摇曳不止

こんちきちん　こんちきちん　想いをのせて文を書く

鸾歌凤吹 余音缭绕 将此心意寄托于信中

梅の咲くころに　また　会えるように

愿梅花盛开之时 你我 还能再度相会

あの季節に　もう

倘若 那个季节

会えないのだとしたら

我们再也无法相会

長い夢から

也该是从这

覚めてしまうようで

漫长的梦中苏醒过来

いま　こんちきちん　こんちきちん　祭囃子がおこしやす

此时 鸾歌凤吹 余音缭绕 祭典庆乐在此夹道欢迎

お月様　はんなりと　夢照らして

皎洁明月 雍容华贵 点亮梦想

こんちきちん　こんちきちん　四季に映した愛しみ

鸾歌凤吹 余音缭绕 映照四季的爱慕之恋

出会いと別れを　あゝ　繰りかえす

相遇与别离 啊 来回上演着

次の千年へ　夢を紡いで

前去下个千年 再续织前梦